

令和3年度 全国学力・学習状況調査

令和3年5月に3学年全員を対象に実施されました「全国学力・学習状況調査」の調査結果について、概要をお知らせいたします。

教科別学習状況の結果について

国語、数学の両教科において、県・全国の平均正答率を6ポイント以上上回っていました。両教科のほとんどの分類（学習指導要領の領域等、評価の観点、問題形式）でも県・全国の正答率を上回っていました。しかし、一部の分類で課題が見られたので、今後の指導に生かしていきたいと考えています。

国語

県・全国の平均正答率と比べ、「国語への関心意欲態度」は7ポイント、「話す・聞く能力」は4ポイント、「書く能力」は1ポイント、「読む能力」は9ポイント、「言語についての知識・理解・技能」7ポイント上回っています。わずかながら1問だけ県・全国平均を下回った問題は、条件に従って自分の言葉で文章を書く問題でした。こういった問題が苦手な傾向は、定期テストでも見られます。問いに正対する文章が書けるよう、授業の中で意識できるようにしていきます。

数学

「数と式、図形、関数、資料の活用」すべての領域で、県・全国の平均正答率を3～11ポイント上回っています。観点別では、「技能」が81.0%（全国平均77.7%）、「知識・理解」が71.6%（全国平均65.6%）という結果になり、基本的な知識と計算の技能がしっかりと身につけていることが分かります。全国的にも課題と捉えられている「見方や考え方」についても49.4%（全国平均41.1%）と良好な結果となっています。今後も教科書の内容をしっかりと学習したうえで、発展的な内容も多く取り入れていきます。またICT機器を取り入れた授業展開で、生徒の学習状況に合わせた指導、支援を心がけていきたいと考えています。

生活習慣・学習習慣の調査結果について

多くの項目は全国とほぼ同じ傾向でしたが、その中で、比較的差があったものをいくつかとりあげます。

| 質問項目 | 旭中 | 全国平均 |
|---|-------|-------|
| 自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか (1の割合) | 40.0% | 32.8% |
| 人の役に立つ人間になりたいと思いますか (1の割合) | 64.8% | 74.3% |
| 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） (1<3時間以上と答えた生徒>の割合) | 33.3% | 12.3% |
| あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか (1<ほぼ毎日>の割合) | 23.8% | 9.7% |

(1.当てはまる 2.どちらかといえば当てはまる 3.どちらかといえば当てはまらない 4.当てはまらない)

*自分の思いを言葉で表現できている傾向があります。人の役に立ちたいという意識に課題が見られます。学校以外の勉強時間が多い傾向があります。今後もICT機器も活用しながら、仲間との対話的な学びを実践しつつ、課題解決に向けて取り組めるような学習を進めていきたいと考えています。